

□主な内容

【第 48 回EST創発セミナーin 伊勢を開催します！】

2 月 18 日(火)に、EST 交通環境大賞で大賞(国土交通大臣賞)を受賞した三重県伊勢市で「観光客も生活者も地球にやさしく移動できる社会を目指して」と題して、第 48 回 EST 創発セミナーを開催します。皆様のご参加をお待ちしています！

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

【第 15 回 EST 交通環境大賞の募集を開始しました！】

地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集を受付中です。〔応募締切:2025 年 1 月 17 日〕

<https://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2024.html>

□目次

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 218 回)

【出雲市超小型モビリティ導入等社会実験協議会、株式会社バイタルリード
佐藤亜美、福井のり子】

2. ニュース／トピックス

- 令和 6 年交通関係優良団体大臣表彰について【国土交通省】
- MaaSの実装に向けた基盤整備事業として、キャッシュレス決済や運行情報のデータ化の取組みを選定しました！【国土交通省】
- 自動運転に資する路車協調システムおよび走行空間の実証実験について募集します ～技術基準等策定に必要な検証を実施～【国土交通省】
- 2024年10月の宅配便の再配達率は約10.2% ～前年同月比0.9ポイント減少、前回比0.2ポイント減少～【国土交通省】
- 「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】
- 船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】
- 第 48 回 EST 創発セミナーin 伊勢〔中部〕【伊勢市、国土交通省中部運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団】

- 自動運転車(レベル 4)の認可を行いました ～運転者を必要としない自動運転車(レベル 4)～【関東運輸局】
- 「岩国交通圏」の営業区域で日本版ライドシェアを許可！ ～岩国交通圏でも「日本版ライドシェア」が運行を開始します～【中国運輸局】
- 「玉野市」の営業区域において日本版ライドシェアを許可しました【中国運輸局】
- 「米子交通圏」の営業区域で日本版ライドシェアが再始動！ ～『ねんりんピック』で導入した「日本版ライドシェア」が運行を再開します～【中国運輸局】
- 東京都狛江市内でローカル 5G 等を活用した遠隔型自動運転実証実験を実施中 ～東京都多摩地区初の公道運転実証！～【狛江市、NTT 東日本、ティアフォー、マップフォー、計量計画研究所、unerry】
- 自動運転大型路線バスの実証実験を実施【平塚市、いすゞ自動車、神奈川中央交通、三菱商事、アイサンテクノロジー、A-Drive】
- 自動運転バスの実証運行について【富士市】
- 次世代モビリティを活用したまちづくり連携協定を締結 恵那市において初めての自動運転実証実験を実施【恵那市、マクニカ】
- 自動運転サービス導入を見据えた実証実験を実施しました ～コミュニティバスを自動運転化！ 2025 年の実装に向け、技術面、事業面、社会受容性について検証します～【鳥取市、WILLER、ティアフォー、日ノ丸自動車、日本交通】
- 自動運転 EV バスの実証実験について【西都市、さいと自動運転推進コンソーシアム】
- 「南さつま市における自動運転の実証・実装に向けた調査事業」を開始【南さつま市、マクニカ、NTT 西日本】
- ライドシェアの実証運行を行っています【伊勢市】
- デマンド交通「のらっさ」を運行しています【平川市】
- 自動運転レベル 4 対応の EV 路線バスが 12 月 25 日より運行開始します【EV モーターズ・ジャパン、伊予鉄グループ、BOLDLY】
- 相乗りサービス『GO SHUTTLE』を湾岸エリアにて 12 月 11 日より開始しました【GO、ハローキョー】
- 平戸市公共ライドシェア、実証運行スタート【Will Smart】
- 2025 年より東京における自動運転技術のテストに向けて協業【GO、Waymo、日本交通】
- 全自動配送実現に向け、ロボット・自動運転車・ドローンの協調配送実証に成功 ～物流の労働力不足解決や、災害時の山間部への物資配送の効率化を目指す～【KDDI、アイサンテクノロジー、KDDI スマートドローン、KDDI 総合研究所、ティアフォー】
- レベル 4 自動運転トラック幹線物流輸送実現に向けた公道実証に参加 ～セイノーHD・日本郵便の幹線輸送の共同運行を T2 自動運転トラックで検証～【日本郵便、JP ロジスティクス、セイノーHD、T2】
- ネットゼロ技術、EV 用蓄電池、グリーン水素の振興に 46 億ユーロ補助【欧州委員会】
- ギリシャ初の完全自動運転の都市鉄道システムを納入【日立レール】

3. イベント情報

- 地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト【2025/1/10】
- 鉄道文化シンポジウム・鉄道のまち「さいたま」の140年～未来に向けて～【2025/1/11】
- 親子で学ぼう！～鉄道のお仕事～【2025/1/18-19】
- 自治体モビリティテックサロン 出版記念「持続可能な交通まちづくり～欧州の実践に学ぶ～」【2025/1/23】
- やまなし公共交通フェスティバル【2025/1/25】

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

佐藤亜美、福井のり子】

本寄稿では、令和5年度に実施した歩道通行車の貸出実験について、安全性や回遊性の検証結果を整理する。使用車両はトヨタの「C⁺walk S」とWHILLの「Model S」であり、充電式の歩道通行車である。出雲大社門前の「神門通り」や稲佐の浜までの「神迎の道」などを推奨ルートとしている。

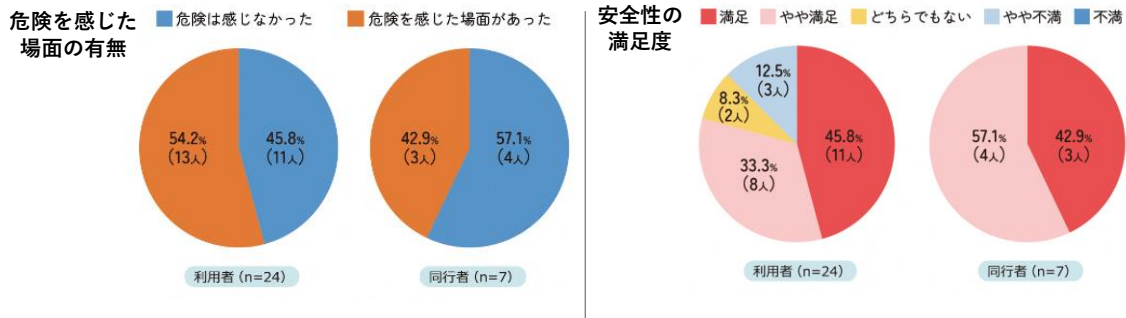
● 駅場所
● 貸出バス
● 推奨ルート

※出雲大社社殿前には乗りこみを利用できる方のみ

2. 実験の結果

貸出は、比較的観光客の多い 11 月(うち 5 日間)に高齢者等の観光客を対象として行い、計 24 人、1 日あたり 4.8 人が利用した。

歩道通行車の利用者とその同行者に対するアンケート調査結果では、約半数が走行中に危険を感じた場面があったと回答したものの、安全性の満足度は利用者の 79.1%、同行者の 100%が「満足」または「やや満足」と回答した。



GPS 計測により利用者の移動状況を確認したところ、多くの利用者が推奨ルートを走行していたが、国道 431 号などの別ルートを走行している人も見られた。また、歩道通行車を駐車してから徒歩移動は、出雲大社の境内や稲佐の浜で多く見られ、歩道通行車の利用により広域の観光エリアを回遊していることがわかる。

車両前方に取り付けたビデオカメラにより、歩行者や自動車等が歩道通行車を見つけて回避行動をとってから、歩道通行車がその場に到達するまでの時間(PET 値)や急ブレーキ等のヒヤリハットの発生回数を計測した。

錯綜現象は計 67 件確認されたが、このうち危険と判断できるもの(PET 値 1 秒以下)は 1 件であった。また、ヒヤリハットは計 10 件発生し、このうち危険度が高いもの(高・中)は 6 件であった。

アンケート調査やビデオ観測の結果から、神門通りなどの歩行者が多くいる場所だけでなく、幅員の狭い道路においても利用者が危険を感じたり、ヒヤリハットが発生したことを確認した。いずれも利用者への安全な利用方法・危険個所の説明、歩行者や自動車等への注意喚起により、危険を回避・減少させることが必要である。



GPS による利用者の移動状況

錯綜現象(PET 値が低い上位 3 件)

PET値(秒)	判定	場所	状況
0.96	危険	神迎の道	子どもが横を見ながら歩いており、保護者の声掛けでシニアカーに気づいて避けた
1.15	安全	神迎の道	歩行者が横を見ながら歩いており、シニアカーに気づいて避けた
1.52	安全	勢溜付近	歩行者2人が立ち止まり、シニアカーが停止 2人のうち1人がシニアカーに気づき、もう1人に声を掛け避けた

ヒヤリハット(危険度の高い 6 件)

危険度	場所	状況
高	稲佐の浜付近	交差点での自動車との衝突回避
高	神迎の道	変則交差点での自動車との衝突回避
中	神門通り	歩道の白線ギリギリを走行する自動車との衝突回避
中	神門通り	渋滞している車の間（横断歩道ではない場所）から出てきた歩行者との衝突回避
中	神門通り	ハンドル操作を誤り、前方を走行するシニアカーと衝突
中	稲佐の浜	ハンドル操作を誤り、シニアカー駐車場のポールに接触

3. 最後に

出雲大社周辺における歩道通行車の貸出について、安全対策の課題が浮き彫りになった一方、観光周遊手段としての活用可能性が確認された。歩道通行車は、徒歩での移動を補完する福祉的役割を持つモビリティであり、出雲大社周辺エリアを訪れる誰もが観光を楽しむことができる環境づくりにつながるものであるが、解消すべき課題も多い。今後、車や歩行者に加え、歩道通行車やグリーンスローモビリティ等の新たなモビリティが共存していくための安全性の確保、利便性の高いサービスを検討していく必要がある。

出雲大社周辺の観光まち歩きの促進に向けた多様なモビリティの導入が進められている中、歩道通行車の貸出やグリーンスローモビリティの運行だけでなく、公共交通の利用促進や観光客への情報提供等、関係者と連携しながら移動環境や観光満足度の向上が求められている。

2. ニュース／トピックス

●令和 6 年交通関係優良団体大臣表彰について【国土交通省】

国土交通省は、地域公共交通に関する取組みに顕著な功績のあった団体等を表彰する「令和 6 年交通関係優良団体大臣表彰」の表彰式を 12 月 16 日に開催しました。地域公共交通部門で 5 件、グリーン経営部門で 3 件を表彰しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000390.html

●MaaSの実装に向けた基盤整備事業として、キャッシュレス決済や運行情報のデータ化の取組みを選定しました！【国土交通省】

国土交通省は、複数の交通モードにおけるサービスを 1 つのサービスとしてデジタルを活用して提供し、地域が抱える様々な課題の解決に資する重要な手段として、MaaS の普及を推進しています。交通事業者のデジタル化や地域交通のキャッシュレス決済導入に関する計 24 事業者による取組みを、MaaS 実装に向けた基盤整備を図るための事業として採択しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000402.html

●自動運転に資する路車協調システムおよび走行空間の実証実験について募集します ～技術基準等策定に必要な検証を実施～【国土交通省】

国土交通省道路局は、車載センサで検知が困難な道路状況を検知し自動運転車両に情報提供を行う路車協調システムや自動運転車両を安全かつ円滑に走行させるための道路空間について、実証実験を実施しています。路車協調システムの技術基準や走行空間のガイドライン等の作成に必要な検証のため、長期間の実証を目的とした実験の協力者について公募を行います。公募期間は、2025 年 1 月 22 日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001865.html

●2024年10月の宅配便の再配達率は約10.2% ～前年同月比0.9ポイント減少、前回比0.2ポイント減少～【国土交通省】

国土交通省は、トラックドライバーの人手不足が深刻化する中、再配達の削減を図るため、宅配ボックスや置き配をはじめ多様な方法による受取を推進しており、これらの成果を継続的に把握すること等を目的として、宅配便の再配達率のサンプル調査を年 2 回(4 月・10 月)実施しています。

2024 年 10 月の宅配便再配達率は約 10.2%で、2023 年 10 月(約 11.1%)と比べて約 0.9 ポイント減、2024 年 4 月(約 10.4%)と比べて約 0.2 ポイント減となりました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000846.html

●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

国土交通省は、12月5日、第47回「エコレールマーク運営・審査委員会」において、エコレールマークの取組企業として2社、認定商品として1件、協賛企業として5社を新たに認定しました。

エコレールマーク制度は、地球環境に優しい貨物鉄道輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。「エコレールマーク」の表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識させ、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進することを目的としています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000211.html

●船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RO-RO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】

国土交通省海事局は、中・長距離フェリー、RO-RO船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向(2024年7～9月実績)を調査し、その結果を公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji03_hh_000191.html

●第48回EST創発セミナーin伊勢〔中部〕【伊勢市、国土交通省中部運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団】

EST普及推進委員会とエコモ財団は、環境的に持続可能な交通(EST)の普及推進を図ることを目的に、2月18日に第48回EST創発セミナーin伊勢を開催します。今回のセミナーでは、環境的に持続可能な地域交通と観光やその事例に関する講演、伊勢市の取組紹介の後、意見交換を通じて伊勢市での観光の公共交通への転換に向けた今後の展開や、他地域で観光客への意識啓発や地域交通のカーボンニュートラルに取り組む際の課題や解決策などについて議論します。当日及び翌日に現地見学会の開催を予定しています。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

●自動運転車(レベル4)の認可を行いました ～運転者を必要としない自動運転車(レベル4)～【関東運輸局】

関東運輸局は、ひたちBRTを運行する車両について、道路運送車両法に基づき、運転者を必要としない自動運転車(レベル4)として認可しました。

この自動運転車(レベル4)は、あらかじめ決められたルート内を周囲の車両や歩行者等を検知しながら、特定の条件下において自動運転することが可能であり、これまで認可された自動運転車(レベル4)の中で最長の運行区間(約6.1km)となります。

<https://www.tbmilit.go.jp/kanto/content/000336532.pdf>

●「岩国交通圏」の営業区域で日本版ライドシェアを許可！ ～岩国交通圏でも「日本版ライドシェア」が運行を開始します～【中国運輸局】

中国運輸局は、山口県の「岩国交通圏」の営業区域において、日本版ライドシェアの許可を行いました。

「日本版ライドシェア(自家用車活用事業)」は、タクシー事業者の管理の下で、タクシーを補完する目的で、地域の自家用車や一般ドライバーを活用して、タクシーが不足する曜日や時間帯において、有償で運送サービスを提供するものです。

https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02133.html

●「玉野市」の営業区域において日本版ライドシェアを許可しました【中国運輸局】

中国運輸局は、岡山県の「玉野市」の営業区域において、日本版ライドシェアの許可を行いました。岡山県内での日本版ライドシェアの許可は初めてであり、当該許可により、中国地方全ての県において日本版ライドシェアの許可をしたことになります。

https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02123.html

●「米子交通圏」の営業区域で日本版ライドシェアが再始動！ ～『ねんりんピック』で導入した「日本版ライドシェア」が運行を再開します～【中国運輸局】

中国運輸局は、これまで「広島交通圏」を始め、「東広島市」、「鳥取県(日野郡を除く 6 営業区域)」、「益田市(旧匹見町)」、「佐伯交通圏」、「萩交通圏」、「柳井交通圏」及び「玉野市」の各営業区域において日本版ライドシェアの許可を行っています。

鳥取県については、10 月に開催された「第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会『ねんりんピックはばたけ鳥取 2024』」会期中の移動需要に対応するため、日野郡を除いた県内 6 つの営業区域で日本版ライドシェアの許可を行い、7 事業者 78 台が来県者の移動の足として、活躍しました。

会期の終了後、鳥取県における日本版ライドシェアは運行を停止していましたが、「米子交通圏」の営業区域において、地域のタクシー事業者から実施の申し出があり、日本版ライドシェアの運行が再開することとなりました。

https://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02124.html

●東京都狛江市内でローカル 5G 等を活用した遠隔型自動運転実証実験を実施中 ～東京都多摩地区初の公道運転実証！～【狛江市、NTT 東日本、ティアフォー、マップフォー、計量計画研究所、unerry】

狛江市、東日本電信電話株式会社、株式会社ティアフォー、株式会社マップフォー、(一財)計量計画研究所、株式会社 unerry で構成されるコンソーシアムは、総務省令和 5 年度補正予算「地域デジタル基盤活用推進事業」にて、2024 年 4 月から、ローカル 5G 等を活用した遠隔型自動運転の実証を進めています。

実証実験の進捗を体感できる場として、2024 年 12 月 20 日、21 日に狛江市にて、遠隔型自動運転バスの住民試乗会を開催しました。試乗会では、小田急線と泉多摩川駅と多

https://evm-j.com/news/ev_route_buses_compatible_with_level4_automatic_driving_will_be_in_operation_from_december_25_2025/

●相乗りサービス『GO SHUTTLE』を湾岸エリアにて 12 月 11 日より開始しました【GO、ハローキー】

GO 株式会社は、ユーザーの移動体験および供給力向上の新たな一手として相乗りサービス『GO SHUTTLE』を、2024 年 12 月 11 日より豊洲や勝どきなど湾岸エリアにて、株式会社ハローキーの運行協力を得て提供開始しました。

<https://goinc.jp/news/pr/2024/12/05/3lwhix0jrax9ngvixqbiji>

●平戸市公共ライドシェア、実証運行スタート【Will Smart】

株式会社 Will Smart は、システム基盤を提供する平戸市の公共ライドシェアの実証運行が 2024 年 12 月 7 日に初めての乗客を迎えたことを記念して、運行主体である(一社)平戸観光協会と共に平戸城にて運行、開始記念式典を開催しました。

<https://willsmart.co.jp/news/20241213/>

●2025 年より東京における自動運転技術のテストに向けて協業【GO、Waymo、日本交通】

GO 株式会社、Waymo 社と日本交通株式会社は、東京において、Waymo の自動運転技術「Waymo Driver」のテストを実施するため、戦略的パートナーシップを締結しました。

GO、Waymo、日本交通は協力して日本における自動運転タクシーの導入を加速させ、人口減少や労働力不足の中での地域の移動手段改善といった社会的課題の解決を目指していきます。プロジェクトは段階的に進行し、初期フェーズは 2025 年に東京都心から開始する予定です。初期フェーズにおいては、日本交通の乗務員が Waymo の車両を運転し、Waymo の自動運転技術を東京の公道に導入するためのテストを行います。

<https://goinc.jp/news/pr/2024/12/17/7zxcnor24lj3ts5l3ah2sn>

●全自動配送実現に向け、ロボット・自動運転車・ドローンの協調配送実証に成功 ～物流の労働力不足解決や、災害時の山間部への物資配送の効率化を目指す～【KDDI、アイサンテクノロジー、KDDI スマートドローン、KDDI 総合研究所、ティアフォー】

KDDI 株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、KDDI スマートドローン株式会社、株式会社 KDDI 総合研究所、株式会社ティアフォーは 2024 年 12 月 6 日、自動配送ロボット・自動運転車・ドローンの協調配送実証に成功しました。

本実証では、5 社で開発した自動配送ロボット、自動運転車、ドローンを協調制御し、各モビリティの合流地点を最適計算する統合配送経路計算技術を活用しています。この技術を活用し、建物内で荷物を受け取った自動配送ロボットと、ドローンを積んだ自動運転車が連携してお互いに最適な合流地点へ移動することに成功しました。

https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-356_3625.html

●レベル 4 自動運転トラック幹線物流輸送実現に向けた公道実証に参加 ～セイノーHD・日本郵便の幹線輸送の共同運行を T2 自動運転トラックで検証～【日本郵便、JP ロジスティクス、セイノーHD、T2】

日本郵便株式会社および JP ロジスティクス株式会社は、セイノーHD 株式会社および株式会社 T2 の 2 社が実施する自動運転トラックを用いた幹線輸送の実証実験に 2025 年 1 月から参加します。

本実証では、トラック輸送のリソースを最大限生かすべく、幹線輸送の共同運行を行っているセイノーHD、日本郵便および JP ロジスティクスと、自動運転トラックの技術開発を行っている T2 が協力し、幹線輸送の共同運行のオペレーションノウハウと自動運転技術を掛け合わせることで、新たな輸送モデルの価値を創造します。また、将来の事業化に向け、知見の獲得や改善点の洗い出しを行います。

https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2024/00_honsha/1212_01_01.pdf

●ネットゼロ技術、EV 用蓄電池、グリーン水素の振興に 46 億ユーロ補助【欧州委員会】

欧州委員会は、総額 46 億ユーロの補助事業の実施と募集について発表しました。低炭素技術事業支援プログラムであるイノベーション基金から支出します。

支援対象は、再生可能エネルギーや水素製造用品の製造を含むネットゼロ技術事業、革新的な蓄電池製造や大規模化を促進する EV 用蓄電池製造事業、製造量に比例した補助を実施するグリーン水素製造事業です。

<https://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=51462&oversea=1>

●ギリシャ初の完全自動運転の都市鉄道システムを納入【日立レール】

株式会社日立製作所の鉄道システム事業を担う日立レールは、ギリシャ共和国初の自動運転のデジタル信号技術と先進的な鉄道車両を納入し、11 月 30 日に同国テッサロニキで新路線の第一区間が開業しました。同路線により、56,000 台/日の自家用車の移動が鉄道に移行し、年間 77,000 トンの CO₂ を削減すると試算されています。

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2024/12/1202a.pdf>

3. イベント情報

●地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト

日時:2025 年 1 月 10 日(金)、24 日(金) 18:00~21:10

場所:ハイブリッド開催((名古屋大学)+オンライン配信)

主催:地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト事務局

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kyoso.htm>

●鉄道文化シンポジウム・鉄道のまち「さいたま」の 140 年～未来に向けて～

日時:2025 年 1 月 11 日(土) 18:00~20:00

場所:市民会館おおみや(レイボックホール) 小ホール

主催:さいたま市、(公財)さいたま市文化振興事業団

<https://saitama-culture.jp/railwaysympo/>

●親子で学ぼう! ～鉄道のお仕事～

日時:2025 年 1 月 18 日(土)、19 日(日)

【午前の部】9:15~12:00 頃

・集合場所:西武鉄道池袋線 練馬駅中央改札口

・解散場所:西武鉄道豊島線 豊島園駅

【午後の部】13:45~16:15 頃

・集合場所:西武鉄道豊島線 豊島園駅改札口

・解散場所:西武鉄道池袋線 練馬駅

場所:西武鉄道池袋線 練馬駅、西武鉄道豊島線 豊島園駅

主催:西武鉄道

<https://www.seiburailway.jp/file.jsp?id=23602>

●自治体モビリティテックサロン 出版記念「持続可能な交通まちづくり ～欧州の実践に学ぶ～」

日時:2025 年 1 月 23 日(木) 18:00~19:00

場所:オンライン開催

主催:LIGARE

<https://ligare.news/seminar/ligarechannel20250123/>

●やまなし公共交通フェスティバル

日時:2025 年 1 月 25 日(土) 10:00~15:00

場所:甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場

甲府駅北口ペDESTリアンデッキなど

主催：山梨県

<https://www.pref.yamanashi.jp/linear-jks/2019-festival.html>

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組や話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomom.jp(担当: 岡本)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>